

[成果情報名]新たに登録されるカンキツ「みはや」の果実特性

[要約]新たに登録されるカンキツ「みはや」は、果皮は比較的滑らかで浮き皮はなく、赤味が強い。果実は減酸が早く、12月上旬には芳香で食味良い果実となる品種である。

[キーワード]カンキツ、みはや、減酸、果皮色、浮き皮

[担当]長崎県農林技術開発センター・果樹研究部門・カンキツ研究室

[連絡先](代表) 0957-55-8740

[区分]果樹

[分類]指導

[作成年度]2012年度

[背景・ねらい]

独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構果樹研究所で育成され、12月の年末需要期に極めて赤みが強く着色に優れた果実を出荷できることから、新たな需要が期待できるカンキツ「みはや」の果実形質を調査し、本県への適応性を明らかにする。

「みはや」の来歴

品種名		交配組み合わせ	
みはや	♀	×	♂
	津之望		N01408
(アンコール×興津早生) × (清見×伊予柑)			

[成果の内容・特徴]

1. 果実重は130～180gで、果形指数120～140程度の扁球形である(表1、写真2)。
2. 果皮は比較的滑らかで浮き皮はなく、果皮色12～13程度で赤味が強い(表1、表2、写真1、写真2)。
3. じょうのう膜の硬さは中程度で種子は少発生するが、果肉は柔らかく多汁でアンコールに似た芳香がある(表2)。
4. 12月に糖度12程度、クエン酸含量1.0g/100ml以下になるなど減酸は早く、年内に可食期となる(表1)。
5. 着花性は良く隔年結果性は比較的小さいものの生理落果等で着果がやや少なくなった場合は、果実品質が低下しやすい傾向にある(表1、表3)。
6. 施設・露地栽培とも栽培可能な品種である(表1、表2)。

[成果の活用面・留意点]

1. 樹勢は中程度、1～2cm程度のトゲが発生する。
2. 着果が少なく果実が大玉傾向となる場合は、果実品質が低下しやすいので適正着果に努める。
3. 果実品質を安定させる栽培技術の開発が必要である。
4. 本品種は、2011年12月7日に品種登録出願され、2012年3月16日に品種登録出願公表されている。

[具体的データ]

表1 「みはや」の果実特性 (1)

年度	調査月日	作型	果形指数	果実重 (g)	着色歩合	果皮色 <sup>z</sup>	果皮厚 (mm)	果肉歩合 (%)	果肉色 <sup>z</sup>	含核程度 <sup>y</sup>		糖度 (brix)	酸含量 (g/100ml)
										完全	不完全		
2010	12月20日	露地	134	175	10	12.0	2.3	78.8	9.0	0.4	0.1	12.8	0.59
		ハウス	131	190	10	12.0	2.5	78.1	9.0	0.0	0.0	12.2	0.57
2011	12月1日	露地	141	217	9.8	11.6	2.1	80.9	9.0	0.2	2.0	9.4	0.52
		ハウス	121	172	10	12.0	2.8	78.2	9.0	0.8	2.2	10.6	0.56
	12月23日	露地	134	237	10	12.2	2.4	80.4	12.2	0.6	1.8	9.4	0.48
ハウス		123	170	10	13.0	3.1	78.3	9.0	0.6	1.2	11.7	0.56	
2012	11月21日	露地	125	139	9.9	12.4	2.6	80.5	10.0	1.4	1.4	11.8	1.17
		ハウス	118	153	10	12.8	2.1	81.6	10.0	0.8	0.8	12.9	1.07
	12月21日	露地	128	130	10	13.0	2.4	78.7	10.4	2.1	1.4	13.3	0.89
ハウス		117	155	10	13.0	3.1	77.9	10.0	0.6	0.6	12.5	0.69	

<sup>z</sup> 果皮色、果肉色はオレンジ色系カラーチャート値

<sup>y</sup> 種子数は、階級別に調査 0: 無種子 1: 5粒以下 2: 6~10粒 3: 11粒以上

表2 「みはや」の果実特性 (2)

作型	果皮				じょうのう		肉質 香り	
	色	粗滑	剥皮の難易	浮き皮	分離の難易	硬さ		
露地	赤橙	やや滑	やや易	無	易	中	やや軟	中
ハウス	赤橙	やや滑	やや易	無	易	中	軟	中

表3 「みはや」の着花・新しゅうの発生

年度	作型	着花量	新しゅう量
2010	露地	3	2
	ハウス	3	2
2011	露地	4	2
	ハウス	3	2
2012	露地	4	2
	ハウス	3	2

注) 着花・新しゅう量は5段階達観



写真1 「みはや」の着果状態



写真2 「みはや」の果実断面

[その他]

研究課題名: 気候温暖化に対応したカンキツ栽培技術の開発

予算区分: 県単

研究期間: 2009~2013年度

研究担当者: 古川 忠